

6 歯科に関する状況

(1) 歯の状況

◆現在歯の状況

20本以上歯を有する者は60歳を超えるとやや減少し、75歳を超えると半数以下であった。平成22年との比較では、85歳以上を除き20本以上歯を持つ者は増加していた。

1人平均現在歯数は加齢に伴い減少し、75歳を超えると20本を下回っていた。平成22年と比較すると45～84歳までは増加していた。

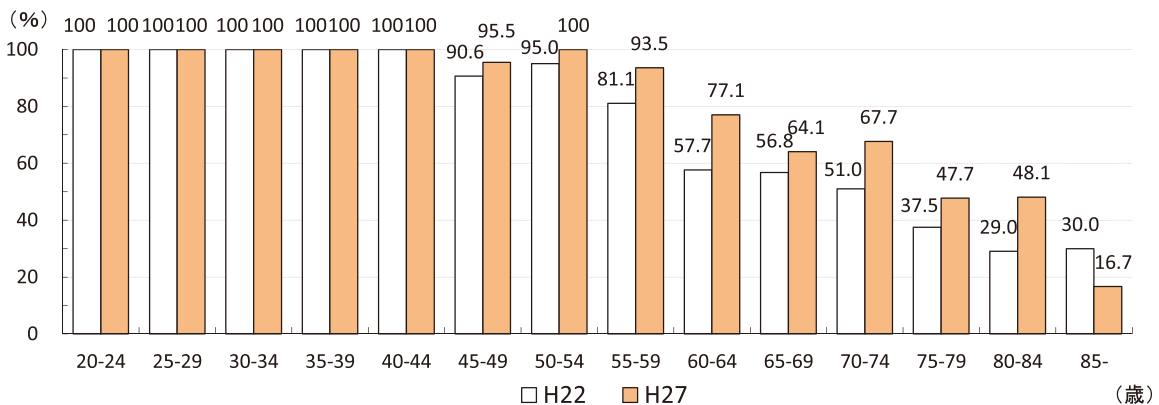
60歳で24本以上歯を有する者の割合は、71.6%（※推定値）であった。

80歳で20本以上歯を有する者の割合は、47.9%（※推定値）であった。

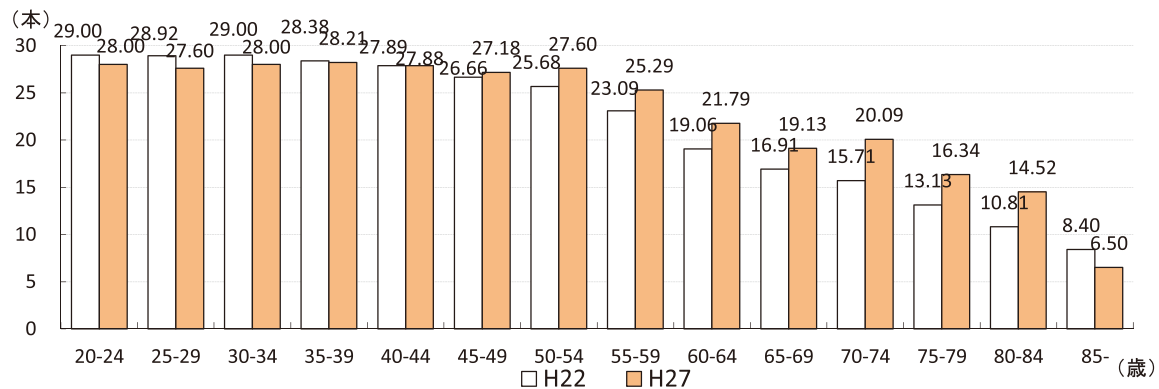
※60歳：55～59歳と60～64歳の割合を単純平均した値（第93表参照）

※80歳：75～79歳と80～84歳の割合を単純平均した値

【図61】 20本以上の歯を有する者の割合（平成22年との比較）



【図62】 1人平均現在歯数（平成22年との比較）



（参考）第2次県民健康づくり計画「えひめ健康づくり21」の目標

自分の歯を有する者の割合

目標値（平成35年度）： 60歳で24歯以上 70%

80歳で20歯以上 50%

愛媛県歯科保健推進計画の目標

60歳で24本以上自分の歯を有する人の割合

目標値（平成28年度）： 60%以上

80歳で20本以上自分の歯を有する人の割合

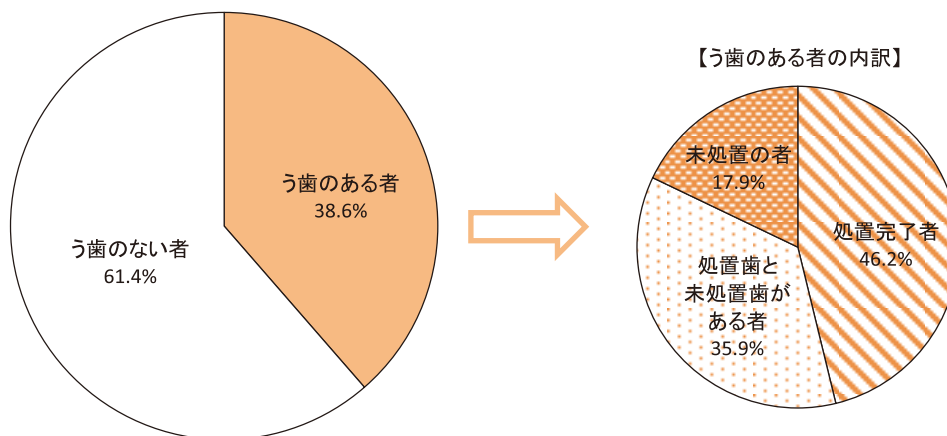
目標値（平成28年度）： 40%以上



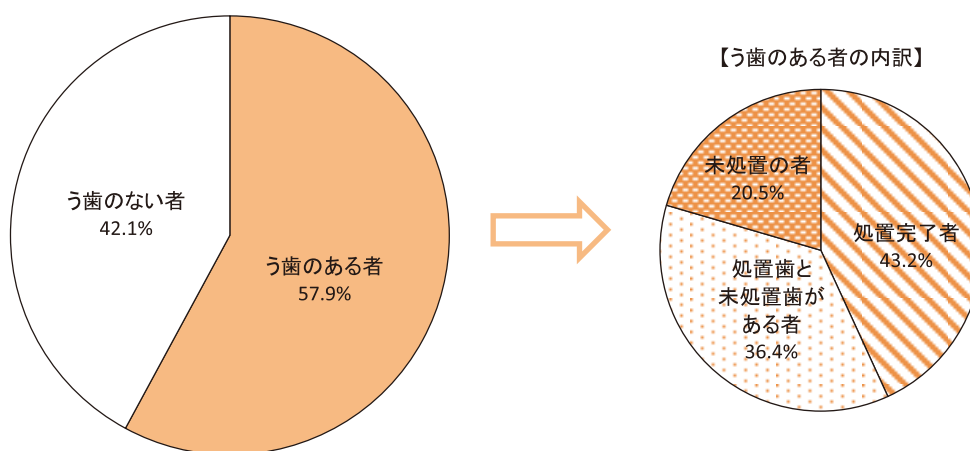
◆う歯の状況

1～14歳において乳歯にう歯のある者の割合は38.6%であった。
5～14歳において乳歯または永久歯にう歯のある者の割合は57.9%であった。

【図63】 う歯のある者の割合・乳歯(1～14歳)



【図64】 う歯のある者の割合・乳歯+永久歯(5～14歳)

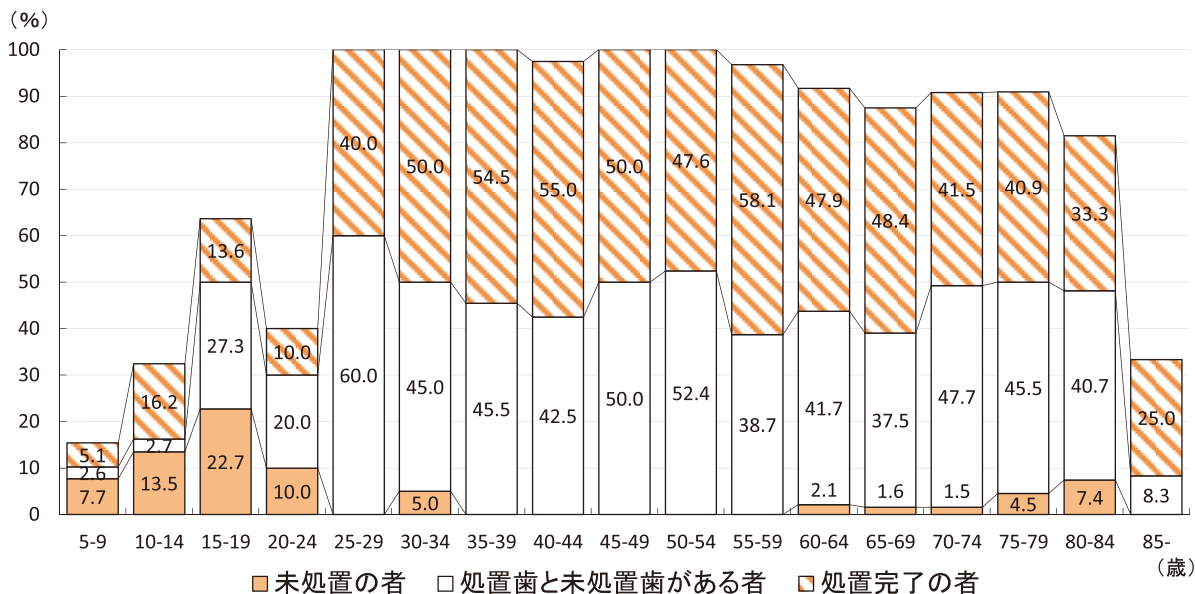


えひめ健康づくり21

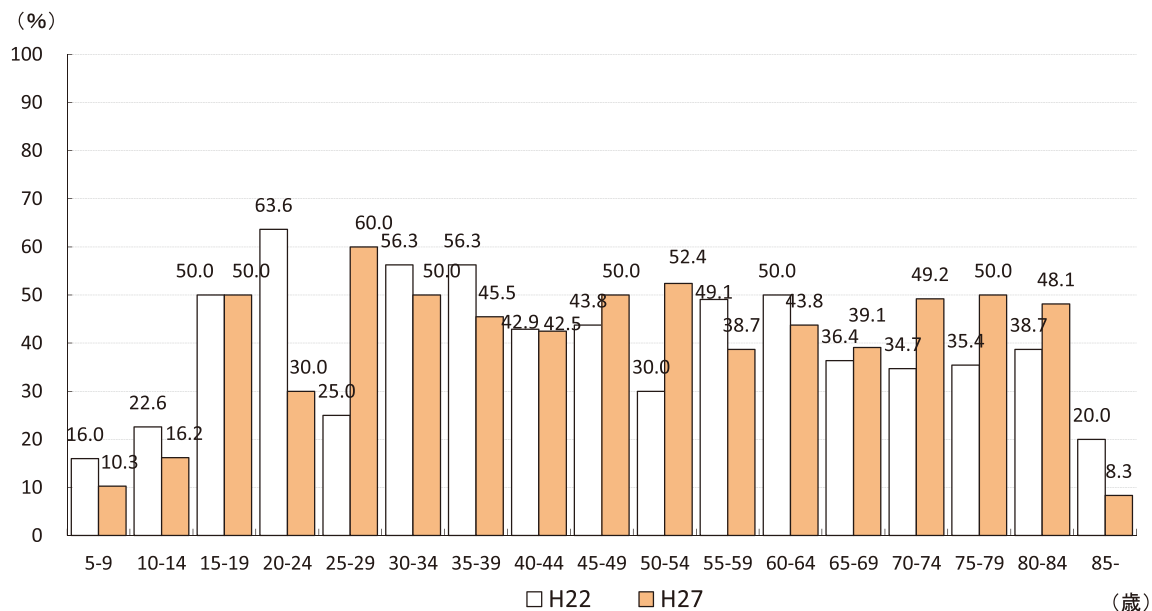
(参考)第2次県民健康づくり計画「えひめ健康づくり21」の目標
3歳児でう蝕(むし歯)がない者の割合
目標値(平成35年度) : 90%以上

永久歯にう歯のある者の割合を年齢階級別にみると、25～59歳まではほぼ全ての者にう歯があった。永久歯に未処置歯のある者の割合は、20歳代40.0%、30歳代47.2%、40歳代46.4%、50歳代46.6%であった。(第87表参照)
平成22年と比較すると、65歳以上の高齢層では増加の傾向がみられた。

【図65】 う歯のある者の割合・永久歯(5歳以上)



【図66】 未処置歯のある者の割合・永久歯(平成22年との比較)

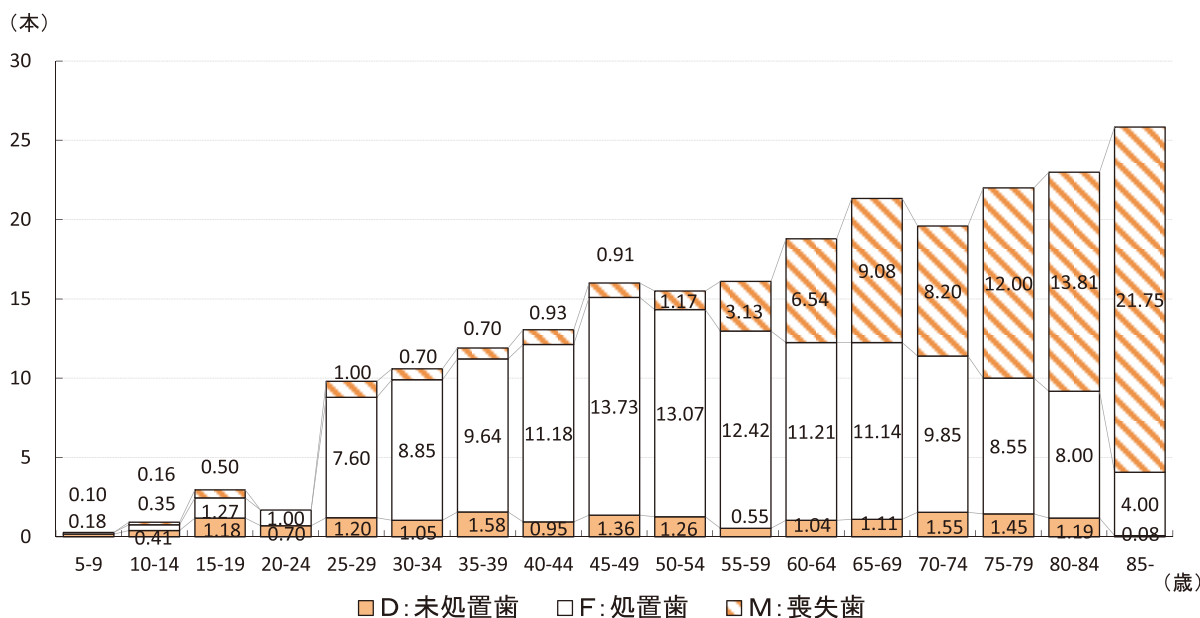


(参考) 愛媛県歯科保健推進計画の目標
未処置歯を有する人の割合
目標値(平成28年度) : 30歳代 45%以下 40歳代 35%以下
50歳代 30%以下

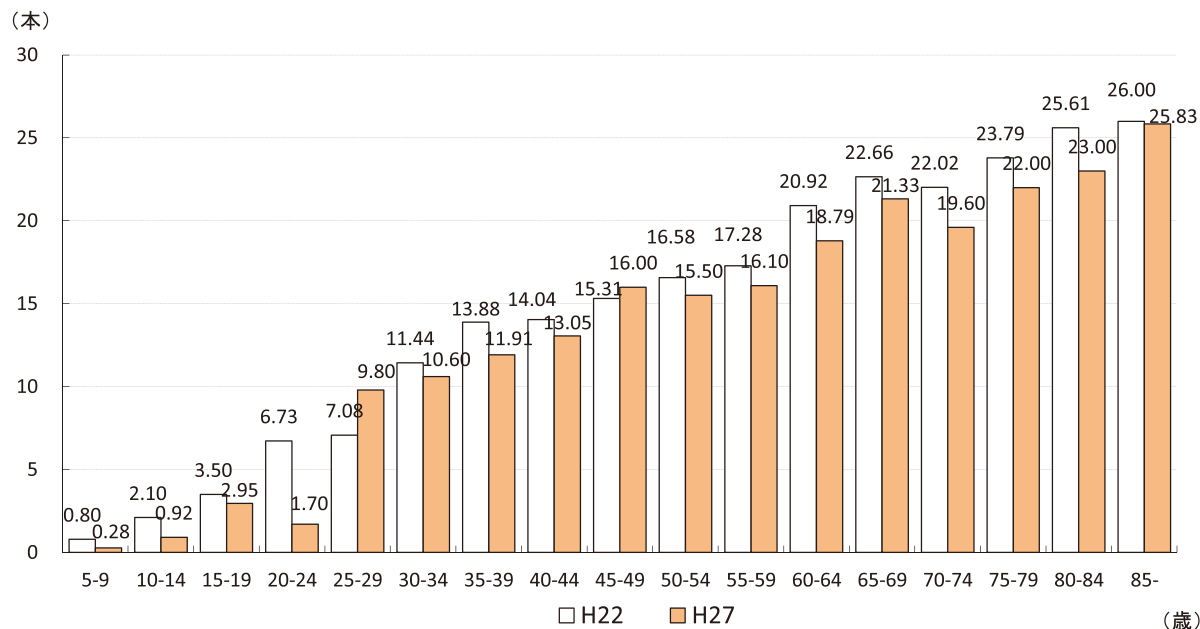
◆1人平均う歯数(DMFT指数)の状況

加齢に伴い1人平均う歯数は増加傾向が見られ、75歳以上は喪失歯が処置歯を上回っていた。平成22年と比較すると、25～29歳及び45～49歳を除き減少していた。

【図67】 1人平均う歯数(DMFT指数)・永久歯



【図68】 1人平均う歯数(DMFT指数)・永久歯(平成22年との比較)

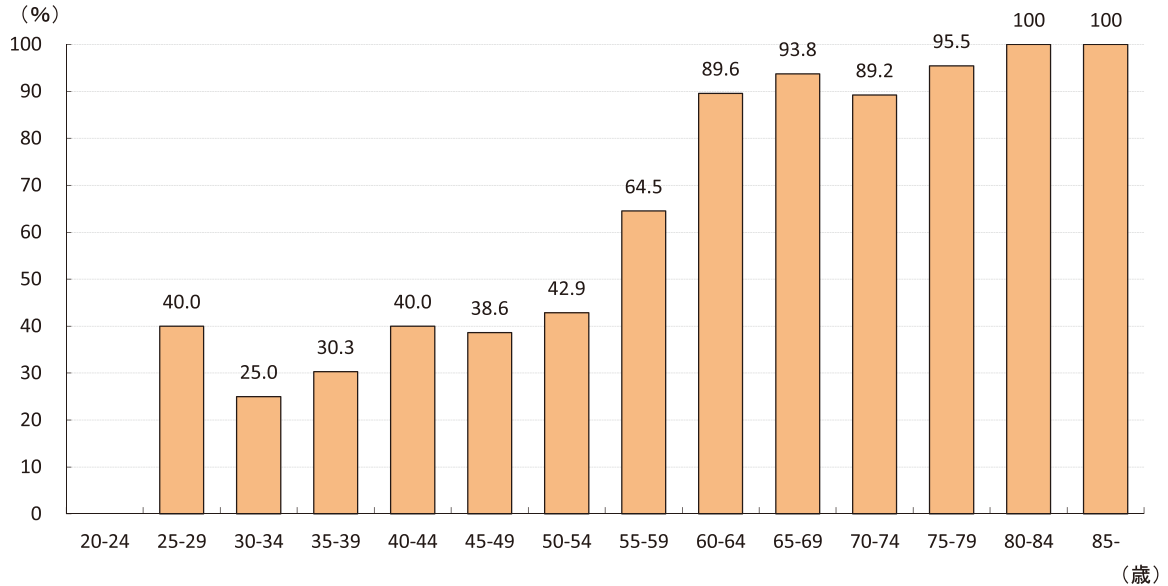


(参考) 第2次県民健康づくり計画「えひめ健康づくり21」の目標
 12歳児の一人平均う歯数
 目標値(平成35年度) : 男子0.9本 女子1.0本
 愛媛県歯科保健推進計画の目標
 12歳児の一人平均う歯数
 目標値(平成28年度) : 男子1本以下 女子1本以下

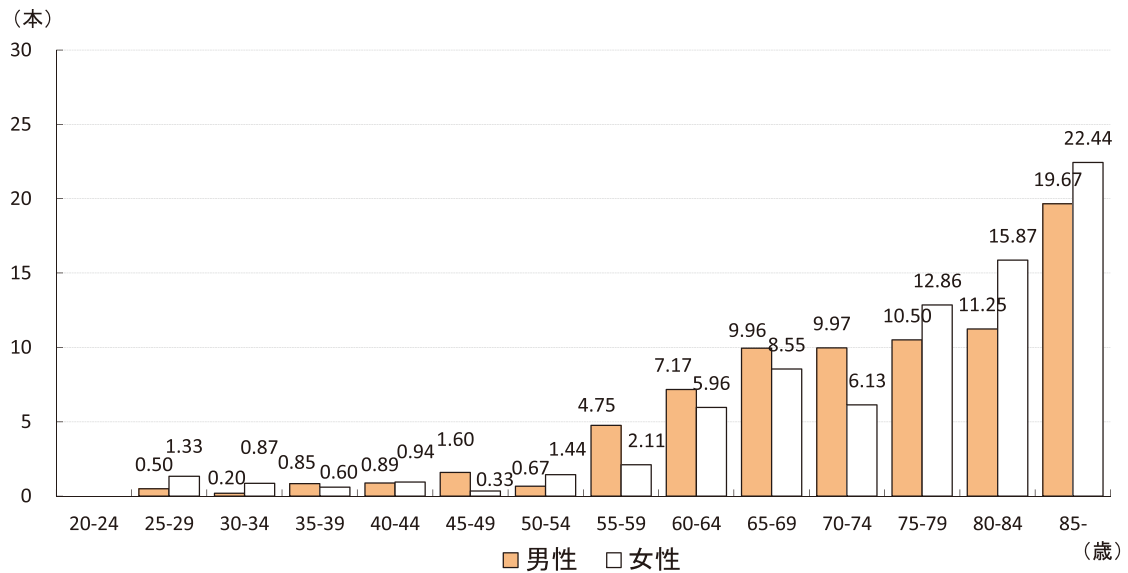
◆喪失歯の状況

喪失歯のある者の割合は、50～64歳の間で増加が著しかった。
 1人平均喪失歯数を男女別で見ると、55～74歳までは男性が、75歳以上は女性が多かった。
 40歳で喪失歯のない者の割合は、64.9%（※推定値）であった。
 ※35～39歳と40～44歳の割合を単純平均した値

【図69】 喪失歯のある者の割合・永久歯



【図70】 1人平均喪失歯数・永久歯



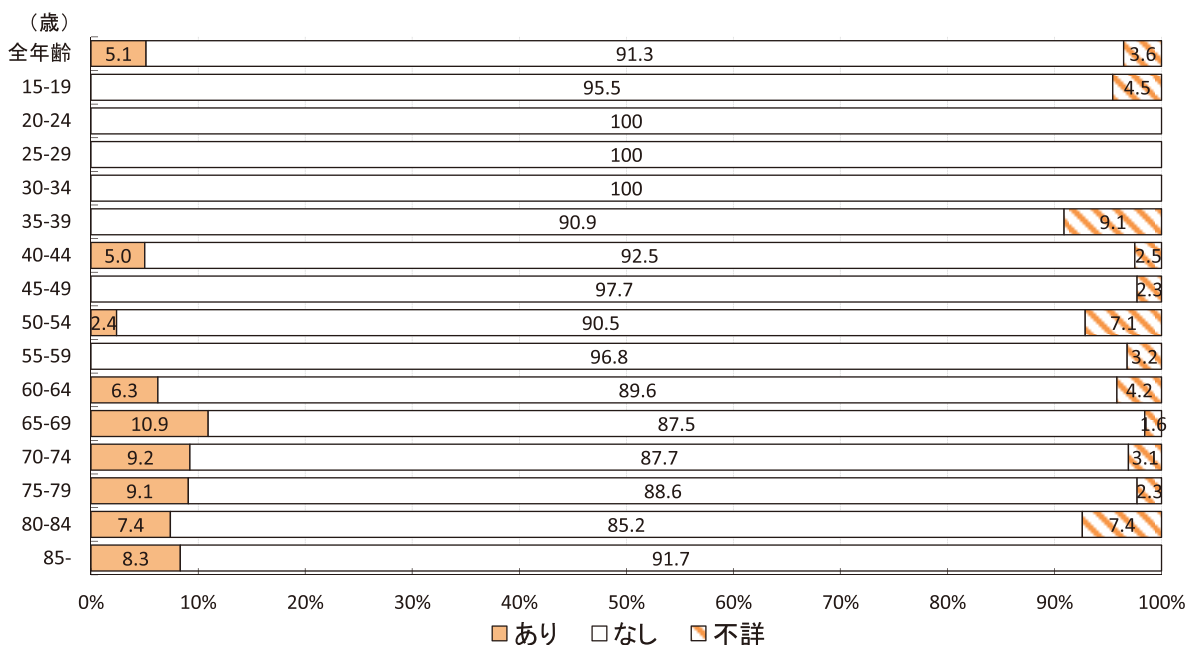
えひめ健康づくり21

(参考) 第2次県民健康づくり計画「えひめ健康づくり21」の目標
 40歳で喪失歯のない者の割合
 目標値(平成35年度) : 75%

◆インプラントの状況

インプラントが入っていると回答した者は全体で5.1%であり、40歳代から始まり、60歳以上で高かった。また、インプラントが入っているかわからないと回答した者は全体で3.6%であった。

【図71】 インプラントの状況(15歳以上)



◆義歯の状況

加齢とともに義歯の装着は増加し、ブリッジ(架工義歯)は25歳、部分入れ歯(部分床義歯)は50歳、総入れ歯(全部床義歯)は55歳以上にみられた。85歳を過ぎると75%に総入れ歯(全部床義歯)が装着されていた。

【図72】 義歯の装着状況(架工義歯、部分床義歯、全部床義歯)

